

群島初の予備校開校

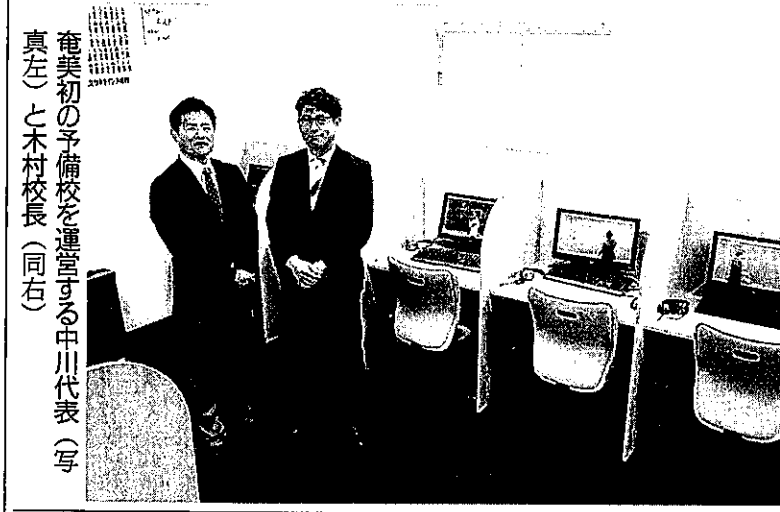
提携した 大手の授業、離島でも

カケハシソリューションズ

カケハシソリューションズ(本社・東京都)の中川智尚代表取締役社長(長)は17日、奄美市名瀬小浜町のAISビル内に大学受験専門予備校「代ゼミサテライト予備校Ishin(イシヒン)」と意欲を語った。

予備校は、学校法人高宮学園「代々木ゼミナール(代ゼミ)」と大阪でサテライト予備校2校を運営するIshin(木村真二代表取締役)と大阪府箕面市との業務提携で実現。パソコン画面を通じた代ゼミ本校の授業を基本に、インターネットを通じてIshin所属の現役大学生による、個別質問や復習ポイントなどに対応するシステム。施設フロアには、机とパソコン40席を設けた。

2014年から地域活性化事業を推進する会社は、これまで、学生の離島滞在を促す「島キャン」、「島おこしインターンシップ」を展開。開校は教育サ



奄美初の予備校を運営する中川代表(写真左)と木村校長(同右)

ポートを通じた地域おこし「島キャン予備校」事業の一環という。中川社長によると、同校のマーケットは、①島内の在校生②出身者の浪人生③島外の浪人生とし、特に島外からの受け入れを重視する考え。奄美で開校するメリットについては、「温暖な気候と静かで穏やかな雰囲気の中で集中して勉強に取り組める」と評価した上で「外海離島の奄美では、受験情報が入手しづらい。子どもや保護者を含め、大学進学への意識付けを促したい」と話した。

同校校長を務める木村代表は「奄美の子どもたちは素直。学習意欲を喚起させ、第一志望校の入学を実現させたい」と述べた。今後は、浪人生を対象にした「島」も受験「夏・春期の集中講座や徹底集中講座などを実施。中学生の夏期講習も検討する。問い合わせはフリーダイヤル☎0120-200-9885まで。